

No.176
2017.11.20

録り下ろし

荘原コミュニティセンター報
庄原のうごき

平成28年10月31日現在
世帯数………2,356戸
男性………3,495人
女性………3,701人
合計………7,196人

発行／荘原コミュニティセンター

出雲市斐川町庄原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

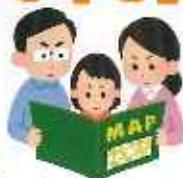
11/2
(木)

「復興へのあかし」「自分の命は自分で守る」

講師：南三陸町志津川中灘行政区長 佐藤徳郎 氏

気仙沼市立気仙沼小学校元校長 中井充夫 氏

主催：荘原地区自治協会



2011年3月11日午後2時46分、三陸沖で発生したマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震により引き起こされた大災害(東日本大震災)は皆さんにもまだ記憶に新しい衝撃的な出来事だったと思います。今から6年前ではありますか、まだ元の生活に戻れない方が多数おられます。

講師先生は当事者でないとわからない苦しさや痛みをお話しいただきました。私たちは毎日が普通に過ごせることのありがたさに感謝し、そして万が一の場合に備えての対応を頭の隅に置くことが必要だということを肝に命じておかなければいけないと強く思いました。避難訓練、家族間の話し合い、地域の人との繋がり。どれもまたいつかではなく日々準備しておかなければ役に立ちません。

まさかこんなことが起きるはずがないと思うことが、ここ数年あちらこちらで起きています。私たちの町も例外ではありません。聴講された多数の方が避難訓練の必要を感想に書いておられました。荘原地区自治協会としても災害対策委員会で毎年避難訓練を計画しています。ぜひ、参加していただきたいと思います。



中井充夫氏より
「自分の命は自分で守る」

おねがい

- ★災害があったらまず安全な所へ
- ★大切なものは失ってもまた手に入ります
- ★しかし、命は戻ってきません
- ★生きていれば、きっとまた良いことが

<参加者店標より>
二人の話を聞いて涙しました。自分の命は自分で守ることはもちろんですが、普通の生活ができることに感謝です。そして地域との連携の大切さ、避難訓練の大切さを伝感しました。

遠路出雲路までお遊びいただき、誠に貴重なお話をありがとうございました。映像を見てもお話を聞いても実際にあったとは未だすべてを理解できない状態です。復興はまだまだと思いますが、地域学習の前に向かっての力強さ、粘り強さ、そして人間力のようなものを感じがえました。今日はありがとうございました。一日も早い完全復興を行ります。

10/14
(土)

講演会～神の庭 荒神谷の30年～

講師 宮澤 明久 氏(元島根県埋蔵文化財調査センター職員)



文化祭のメインの企画として、青銅器発掘より30年になる荒神谷遺跡にスポットをあて、講師に元島根県埋蔵文化財調査センターの宮澤明久氏を迎えて「神の庭 荒神谷の30年」と題してお話ししていただきました。宮澤氏は銅鐸、銅矛の発掘に直接関わっておられ、その貴重な体験談を聴きながら、発掘当時の斐川町挙げてのフィーバーぶりを思い起こしました。荘原地区にある国史跡を再確認する良い講演会となりました。

荘原地区文化祭実行委員会会長 村上 基

莊原地区文化祭

莊原地区文化祭実行委員会

10/14
(土)

島根県砂防課による出前講座

“防災意識向上と自然災害について”

「土砂災害に備えて」島根県土木部砂防課防災講習会



近年の気候変動で昔とは雨の降り方が変わり、「記録的な」、「これまで経験のない」等の言葉をよく耳にし、重大な土砂災害が頻発するようになりました。島根県でも平成27年7月の津和野においての豪雨災害は記憶に新しいところです。それでも島根県はありがたいことに全国的にも災害が少ない地域です。特に東部は災害が少なく災害に対する意識が低いのも現実です。災害は他人事ではなく、必ずやってきます。私たちの地区、我が家ではどんな危険があるか、避難場所・避難経路は？自分で入手できる防災情報は？

地区内の世帯構成は？
等、地区的現状を知り、行政・住民個人・地域で「できること」と

「できないこと」を理解し合いながら防災意識を高め、災害に強い町づくりをしていくことが急務です。私たちができることそしてすべきことは、土砂災害から命を守るために「日頃の備えと早めの避難」を心がけ、防災についてもっと意識を深めることだと思いました。



10/14・15
(土) (日)

発表会出場団体

ピアノ、大正琴、詩吟、莊原幼稚園、手話サークルつじひ会、エアロビクス、氣功太極拳、おおざ会、コラス、高姫連ひびき・ひびキッズ、東部保育園、樽太鼓、フォークダンス



お楽しみ抽選会景品のご提供

ふれあい市場(野菜)
モーテ(米粉パン)
JAグリーンセンター(野菜)
金太郎の家(焼きそば)
斐川サンホーム(大判焼き)

やまもの会(焼き込みご飯)
ながせファーム(ジャム、野菜)
かんぱんだん(野菜)
てんとう虫(てんぶら)
陶芸教室(陶芸)

はな女花クラブ(寄せ植え)
莊原地区自治協会(花苗、図書カード)
莊原コミュニティセンター(シクラメン)

優勝 内藤 博哉 (三崎地区)	
準優勝 多々納康人 様 (東江地区)	
3位 稲田 清春 様 (北原地区)	
4位 錦織 規明 様 (莊原地区)	
5位	須田 道正 様 (莊原地区)

莊原地区将棋大会

将棋大会の様子



展示作品団体

莊原小学校、斐川東中学校、莊原幼稚園、東部保育園、莊原保育園、こどもお花クラブ、なかよしのはなし会、美昌クラブ、手芸教室、呂道、陶芸クラブ、盆栽会、ちぎり絵、いけ花、草笛匂会、MOA山月光輪花、斐川サンホーム、金太郎の家、グループホーム朝、COCO莊原・向日葵の家



莊原幼稚園・莊原保育園・
東部保育園で育てた
さつま芋の焼き芋屋さん



パトカー試乗

三二消防車

9/15
(金)

キャリア教育講座講演会

主催 莊原小学校 PTA 文化部

共催 莊原コミュニティセンター総務部 自主企画事業



莊原小PTA文化部主催、莊原コミュセン共催で「平成29年度キャリア教育講座講演会」が9月15日に莊原小学校体育館において開催されました。講師には「ガイアの夜明け」のチーフプロデューサーである野口雄史氏をお迎えし、「仕事とは？」働くとは？」の演題で5・6年生、保護者、地域の人たち約300人が参加する中で行われました。

講演では最初に、「ガイアの夜明け」は「普通の人を主人公に様々な現場で頑張っている人を描くことにより視聴者が自分も頑張ってみようと思える番組」を制作の主眼に据えているとの説明があり、プロジェクトで県内の職場で頑張って働いている人を取り上げた過去の番組の一部を流し、児童への質問「親の職業は？」、「農業」「会社員」等々、「どんな仕事がありますか？」、「コンビニ店員」「警察官」等々、「なりたい職業は？」、「料理人」「女優」等々を通じてテンポよく進行され、講演の最後に野口氏は現在報道番組に携わって居られることもあり、「ガイアの夜明け」で多くのドキュメンタリーを制作する中で仕事に失敗し、どん底まで追い込まれた人々と接し、その人たちが共通に口にした言葉は「生きていてよかった」「生きていれば何もいいことがある!でした」と静かな口調で、思いを込めて言われました。

講演会の終わりにあたってPTA会長、児童代表がお礼の言葉を述べ、須田英典校長先生が簡単に小学校でのキャリア教育の取り組みについて、「働いている人(出西焼き、今在家での農業、防災ヘル等)の処に行き直接声を聞き、その苦労を知りました」と説明され、最後に小松原進文化部長の児童に対する「本日は必ず仕事のことについて親と話してください」との挨拶で盛会のうちに終わりました。

莊原コミュセン 総務部部長 森脇 孝充

9/20～9/22
(水) (金)

斐川東中学校生徒職場体験



斐川東中学校の生徒さん3名が、荘原コミュニティセンターで「職場体験学習」を行いました。「おいでませの会」のサロン活動での交流など3日間の体験学習でした。地域のみなさんとのふれあいを通してコミュニケーション力が学べたと思います。この経験を今後の学校生活に活かしてほしいと思います。

9/15
(金)

朝ごはんをつくろう

自主企画事業



感想

地域の方との交流ができて良かった。食事で品数を作ろうと思うと大変…というイメージがあったが、簡単にできる事がわかり日々の食事を作る時のヒントがあった。家でも作つてみたいです。

今回4回目の荘原小学校PTAさんと「朝ごはんをつくろう」を開催しました。講師さんに学校給食の松浦佐代子栄養士さんと柳樂小百合栄養士さんをお迎えしご指導をいただきました。短時間で作る野菜たっぷりのメニューで、頭に必要な栄養源となる料理なので子育て真っ最中のお母さん方にはとても参考になったと思います。また、地域の先輩お母さん方との交流も楽しそうでした。子どもたちのみならず、元気で若らしくて毎日欠かさず食べる食材に 관심を持っていただきたいです。



MENU

旬の魚の追加丼
カツ丼
青菜のコーンのあえもの
納豆サラダ
野菜の味噌汁

荘原コミュニティセンターより Information

申し込み・問い合わせ… 荘原コミュニティセンター 電話 72-4600

お知らせ

*年末年始の利用について

*荘原コミュニティセンター
年末12月29日(金)から1月3日(水)まで一般業務はお休みします。

*リサイクルステーション
12月30日(土)31日(日)
はお休みします。1月6日(土)より平常通り利用できます。

*しめ縄づくり参加者募集

荘原小学校児童、PTAさんと一緒にしめ縄づくりしませんか？自分で作ったしめ縄でお正月を迎えてみませんか！

○日 時：平成29年12月3日(日)10:00～13:00

※終了時刻とおにぎり(荘原小学校2年生と作ったアイガモ鶏の無農薬米)ができます

○場 所：荘原小学校体育館

○持ち物：はさみ・タオル

○主 催：荘原地区社会福祉協議会

○共 催：荘原小学校PTA生活部
荘原コムセン(ふれあい交流部)

皆様からお寄せいただいたお手紙は、
荘原地区社会福祉協議会に提出させていた
だきます。誠にありがとうございます。

高橋
糸賀

繁美

香典返し
須田
ラミエ

昌夫
様

金一封
様

長岡
和弘

様

荘原自治会
幸町自治会
馬役自治会

ご寄付御礼